

番号：131106

国名：マレーシア

担当部署：経済基盤開発部 運輸交通・情報通信第一課

案件名：海上保安実務能力及び教育訓練制度向上プロジェクト（潜水医学）

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：潜水医学
- (2) 格付：4号
- (3) 業務の種類：専門家業務

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2013年12月下旬から2014年2月中旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.40M/M、現地 0.73M/M、合計 1.13M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地調査期間	整理期間
3日	22日	5日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、場所

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：12月4日(12時まで)
- (4) 提出場所：専用アドレス(e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出、  
または調達部受付(JICA本部1F)への書類の提出

※2013年10月2日以降の公示案件（業務実施契約（単独型）のみ）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を試行導入します。提出方法等詳細については、JICAホームページ（ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ）をご覧ください。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
    - ①業務実施の基本方針 16点
    - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
  - (2) 業務従事者の経験能力等：
    - ①類似業務<sup>※</sup>の経験 40点
    - ②対象国又は同類似地域での業務経験 8点
    - ③語学力 16点
    - ④その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務	潜水医学の教育に係る各種業務
対象国／類似地域	マレーシア／全世界（本邦含む。）
語学の種類	英語

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：特になし

### 6. 業務の背景

マレーシアはマラッカ・シンガポール海峡を始めとして領海内に広範囲の国際航路を有し、日本関係船舶を含む多数の国際船舶が航行している。マレーシアにとって海事関係産業は国民総生産（GDP）の約20%となっているが、一方で外国漁船による密漁、海難事故、密輸、海賊、密入国

等の犯罪の増加が深刻な問題となっている。

かかる諸問題に対処していくため、マレーシア政府は、海上警察、海軍、水産局、入国管理局、環境局等の11に分散していた海上保安に関係する業務を一元的に管理し対応するため、新たに海上法令執行庁（Malaysia Maritime Enforcement Agency、以下「MMEA」という。）を設立することを2002年8月に決定し、2005年11月から運用を開始した。運用開始時には、警察、税関、水産庁等とその所掌が重複しており、効果的な執行権限を有することが出来なかったが、2011年9月より今まで複数に跨っていた所掌が全てMMEAに統合され、「マ」国の権限が行使される全ての海域における海上保安業務に従事することとなり、今まで警察と分掌していた、特別な技術を有しその育成に多くの時間を要する潜水作業を伴う水面下での犯罪捜査や救助作業等についても全てMMEAが対応することとなった。

このような状況下、関係省庁からの犯罪捜査に精通する人員の移管はなく、特に潜水技術を要する水面下での犯罪捜査、救助作業に従事可能な職員は非常に限られており、これら職員の育成が喫緊の課題である。現在、MMEAでは、潜水作業に従事できる職員の育成を海軍に委託しているが、その人数は受入先の事情によるところが大きく安定的な供給をすることが不可能である。更には海軍のような軍事的なミッションを念頭においた教育概念及び教育システムは法令執行（水面下での犯罪捜査）や救助作業に必要なものと一部は重複するものの、基本的には異なる技術等が必要であり、海軍の教育課程を卒業した者に再教育を行う必要性がある。

そうした中、MMEAは、潜水基礎技術を供与するに十分な規模のプールを備えた近代的な教育施設を建設し潜水教育体制の構築を図っており、我が国に同分野への支援を要請した。本業務は、同要請に応え、海面下における法令執行や救助能力の強化を目的とした訓練をMMEAに提供することを目的とするものである。

## 7. 業務の内容

本業務は、本プロジェクト長期専門家及び海上保安庁から別途派遣される短期専門家（潜水教育、潜水実技1/海中捜索救助技術、潜水実技2/水中結索技術、機材取扱）と協力して実施する特殊救難技術（潜水）セミナーにおいて、特に潜水医学に係る講義及び実習を実施するものである。

具体的な業務内容は以下のとおり。

### （1）国内準備期間（2013年12月下旬）

- ①プロジェクト関係資料（長期専門家作成報告書等）を確認し、プロジェクトの内容及び進捗状況について把握する。
- ②他の指導科目を担当する短期専門家（潜水教育、潜水実技1/海中捜索救助技術、潜水実技2/水中結索技術、機材取扱）が実施を予定している講義、実習の内容を確認する。
- ③②で確認した内容を踏まえ現地派遣期間の業務計画を作成し、本プロジェクト長期専門家に内容を確認し協議する。

### （2）現地派遣期間（2014年1月上旬～2014年1月下旬）

- ①現地派遣期間に実施すべき業務の計画をワークプラン（英文）に取りまとめ、C/P及びプロジェクト長期専門家と、現地派遣期間中の業務工程、業務方針について詳細を打合わせる。
- ②他の短期専門家と協力し、潜水医学に関する講義、実習を実施する。研修の実施に際しては以下の事項に留意しつつ実施すること。
  - ア）潜水技術に関するC/Pのレベルを把握・確認する。
  - イ）潜水医学の最新の知見を踏まえた講義及び実習を実施するとともに、C/Pのレベルに併せて工夫した教授方法を採用する。
  - ウ）他の短期専門家と協力し研修員及び研修全体の成果（特に潜水医学に関わる部分）を評価する。
  - エ）上記ウ. を踏まえて、MMEAの潜水教育の課題と改善の方向性（特に潜水医学に関わる部分）について、C/P及びプロジェクト専門家と検討する。
- ③現地業務結果報告書（英文）を作成し、プロジェクト長期専門家、JICA本部、事務所、C

／P機関に提出し、報告する。

(3) 帰国後整理期間 (2014年2月上旬)

① 専門家業務完了報告書 (和文) を作成し、JICA経済基盤開発部に提出する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は(3) 専門家業務完了報告書とする。

- (1) ワークプラン (英文4部: プロジェクト長期専門家、JICA本部、事務所、C/P機関)  
現地派遣期間中に実施する業務内容を関係者と共有するために作成。業務の具体的内容(案)などを記載。
- (2) 現地業務結果報告書 (英文4部: プロジェクト長期専門家、JICA本部、事務所、C/P機関)  
記載項目は以下のとおり。
  - ① 業務の具体的内容
  - ② 業務の達成状況
- (3) 専門家業務完了報告書 (和文3部)  
記載項目は以下のとおり。
  - ① 業務の具体的内容
  - ② 業務の達成状況
  - ③ 業務実施上遭遇した課題とその対処
  - ④ プロジェクト実施上での残された課題 (特に潜水医学に関わる部分)
  - ⑤ その他

体裁は簡易製本とし、電子データを併せて提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示にかかる見積書の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。

留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等  
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します (見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい)。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地派遣期間は2014年1月4日～1月25日を予定していますが、他団員との日程調整等により変更の可能性があります。

② 現地での業務体制

本業務に係る現地プロジェクトチームの構成は、以下のとおりです (本業務の現地作業期間に派遣されている専門家のみ記載しています)。

- ・ 海上保安 (長期派遣専門家)
- ・ 潜水教育
- ・ 潜水実技1/海中搜索救助技術
- ・ 潜水実技2/水中結索技術
- ・ 機材取扱

③ 便宜供与内容

プロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎

- あり
- イ) 宿舎手配
- あり
- ウ) 車両借上げ  
必要な移動に係る車両の提供（市外地域への移動を含む。）
- エ) 通訳備上  
なし
- オ) 現地日程のアレンジ  
プロジェクトが必要に応じアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供  
研修実施に際してはMMEA所有のプールを使用可。

## (2) 参考資料

本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイトで公開されています。

- ・プロジェクト基本情報

(<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/9DE597CCFCFC3B9A49257B7B0079D309?OpenDocument&pv=VW02040102>)

(ナレッジサイトトップ>プロジェクト情報>スキーム別&国別一覧>プロジェクト基本情報)

また、本業務に関する以下の資料を配布いたします。

- ・Record of Discussions (R/D)

## (3) その他

- ①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ②望ましい資格・経験：
  - ・潜水医学の知識及びその教育に係る経験を有することが望ましい。
  - ・潜水士若しくはそれに準ずる潜水指導団体の発行する資格等を有することが望ましい。
  - ・公的機関や民間団体に潜水技術の供与を行った経験を有することが望ましい。

以上

**RECORD OF DISCUSSIONS**

**ON**

**PROJECT ON ENHANCING PRACTICAL CAPACITY FOR  
MARITIME SAFETY AND SECURITY AND IMPROVING  
EDUCATION AND TRAINING PROGRAM**

**IN**

**MALAYSIA**

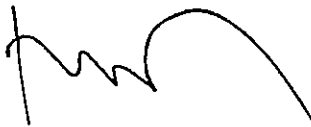
**AGREED UPON BETWEEN**

**MALAYSIAN MARITIME ENFORCEMENT AGENCY**

**AND**

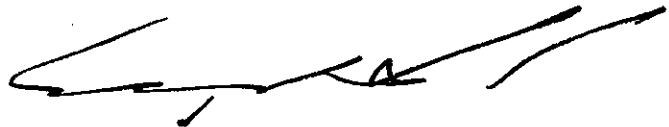
**JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY**

Putrajaya, 19<sup>th</sup> June, 2013



---

MR.KUNIHICO SATO  
Chief Representative  
Malaysia Office  
Japan International Cooperation  
Agency



---

VICE ADMIRAL MARITIME DATO'  
AHMAD PUZI AB KAHAR  
Deputy Director General (Operations)  
Malaysian Maritime Enforcement  
Agency  
Prime Minister's Department

In response to the official request of the Government of Malaysia (hereinafter referred to as "GOM") to the Government of Japan, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") held a series of discussions with Malaysian Maritime Enforcement Agency (hereinafter referred to as "MMEA") and relevant organizations to develop a detailed plan of the Project on Enhancing Practical Capacity for Maritime Safety and Security and Improving Education and Training Program (hereinafter referred to as "the Project").

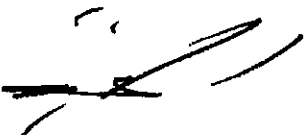
Both parties agreed the details of the Project and the main points discussed as described in the Appendix 1 and the Appendix 2 respectively.

Both parties also agreed that MMEA, the counterpart to JICA, will be responsible for the implementation of the Project in cooperation with JICA, coordinate with other relevant organizations and ensure that the self-reliant operation of the Project is sustained during and after the implementation period in order to contribute toward social and economic development of Malaysia.

The Project will be implemented within the framework of the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme and the Note Verbales exchanged on 11<sup>th</sup> June 2013 between the Government of Japan (hereinafter referred to as "GOJ") and GOM.

Appendix 1: Project Description

Appendix 2: Main Points Discussed



## PROJECT DESCRIPTION

### I. BACKGROUND

MMEA was established on 30th November 2005 and officially launched on 21 March 2006. The primary function of MMEA is to maintain law and order at sea, to conduct Search and Rescue and to enforce all maritime laws at the same time. MMEA also enforces federal laws on Malaysia flagged vessels at high-sea and all vessels within Malaysian's Maritime Zone. Since 2004, MMEA, JICA and Japan Coast Guard have engaged some project to enhance and/or improve the capacity of MMEA as a maritime safety and security agency, from the fundamental level as strengthening structure of the organization of MMEA and obtaining basic and/or practical knowledge toward to the improving practical performance of each field of mandate of MMEA.

Maritime activities are very important to Malaysia and contributing 20 percent of the country's GDP. As of August 2012, MMEA has taken over the role of sole agency enforcing the Law in the Maritime Zone from other relevant Malaysian agencies. MMEA faces a lot of challenges such as; 1) Violation of territorial waters, 2) Safety of navigation, 3)Smuggling of contraband items,4) Piracy and sea robbery,5)Illegal immigrants, 6) Illegal fishing.

To counter these challenges, MMEA faces, not only utilize fully the upgraded performance of MMEA through the past JICA project, but also seek the opportunity to enhance practical capability of MMEA, especially improve education and training matters to develop the instructors of MMEA.

In order to achieve the goal to be the best coastguard in the world and perform the duties, MMEA needs trained competent officers with enough knowledge. Therefore, MMEA has to enhance its capacities to consolidate enforcement and surveillance functions so as to cover the whole maritime zone.

Furthermore, Academy Maritime Sultan Ahmad Shah (AMSAS) was established by the Malaysian government, which has a vision "To become a world class maritime enforcement training institution". In order to function as a regional education and training center, AMSAS also needs curriculum, teaching materials and competent instructors, etc.

### II. OUTLINE OF THE PROJECT

#### 1. Title of the Project

Project on Enhancing Practical Capacity for Maritime Safety and Security and Improving Education and Training Program

## 2. Overall Goal

MMEA has high practical capacity as a maritime safety and security agency and becomes a regional training center in Southeast Asian countries.

## 3. Project Purpose

The practical capacity of MMEA is enhanced and MMEA can organize a training course on maritime safety and security for other countries.

## 4. Outputs

- 4.1 Practical capacity for Maritime Law Enforcement (MARLEN) is enhanced.
- 4.2 Practical capacity for Search and Rescue (SAR) is enhanced.
- 4.3 AMSAS education and training program is improved.

## 5. Activities

### 5.1 Maritime Law Enforcement

- 5.1.1 Review practical MARLEN training
- 5.1.2 Conduct training(s) on forensic skill
- 5.1.3 Conduct training(s) on detecting skill
- 5.1.4 Develop Standard Operation Procedure for forensic and detecting skill

### 5.2 Search and Rescue

- 5.2.1 Review practical SAR training
- 5.2.2 Conduct training(s) on SAR operation coordination techniques
- 5.2.3 Conduct training(s) on Underwater rescue
- 5.2.4 Develop Standard Operation Procedure for diving techniques

### 5.3 Education and Training

- 5.3.1 Review AMSAS present education and training program, such as organization, curriculum, instructing materials and instructing skill and methodology, etc
- 5.3.2 Improve AMSAS's training program for MMEA
- 5.3.3 Conduct training(s) for AMSAS instructors to have educational ability to instruct trainees from other countries
- 5.3.4 Develop a training program by AMSAS for other countries

## 6. Input

### 6.1 Input by JICA

- 6.1.1 Dispatch of Experts
  - Maritime Safety and SecurityOther experts will be dispatched in accordance with the needs and necessity for the effective implementation of the Project.

### 6.1.2 Training

Counterpart trainings (Japan and/or Third countries) will be held in



accordance with the needs and necessity for the effective implementation of the Project.

#### 6.1.3 Machinery and Equipment

Equipment will be provided in accordance with the needs and necessity for the effective implementation of the Project.

In case of importation, the machinery, equipment and other materials under II-6 (1) (c) above will become the property of the GOM upon being delivered C.I.F. (cost, insurance and freight) to the Malaysian authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation.

Input other than indicated above will be determined through mutual consultations between JICA and MMEA during the implementation of the Project, as necessary.

#### 6.2 Input by MMEA

MMEA will take necessary measures to provide at its own expense:

- 6.2.1 Services of MMEA's counterpart personnel and administrative personnel as referred to in II-7;
- 6.2.2 Suitable office space with necessary equipment;
- 6.2.3 Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the equipment provided by JICA;
- 6.2.4 Transport for the JICA experts for official travel within Malaysia;
- 6.2.5 Information as well as support in obtaining medical service;
- 6.2.6 Credentials or identification cards;
- 6.2.7 Available data (including maps and photographs) and information related to the Project;
- 6.2.8 Running expenses necessary for the implementation of the Project;
- 6.2.9 Expenses necessary for transportation within Malaysia of the equipment referred to in II-6 (1) as well as for the installation, operation and maintenance thereof; and
- 6.2.10 Necessary facilities to the JICA experts for the remittance as well as utilization of the funds introduced into Malaysia from Japan in connection with the implementation of the Project

#### 7. Implementation Structure

The Project organization chart is given in the Annex 1. The roles and assignments of relevant organizations are as follows:

##### 7.1 MMEA

- 7.1.1 Project Director  
Deputy Director General (Operations) will be responsible for overall administration and implementation of the Project.
- 7.1.2 Project Manager  
Director of Strategic Planning, Maritime Policy and International

Relations will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.

7.1.3 Counterpart Personnel  
Counterpart Personnel is responsible for producing each output.

#### 7.2 JICA Experts

The JICA experts will give necessary technical guidance, advice and recommendations to MMEA on any matters pertaining to the implementation of the Project.

#### 7.3 Joint Coordinating Committee

Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") will be established in order to facilitate inter-organizational coordination. JCC will be held at least once a year and whenever deems it necessary. JCC will approve a work plan, review overall progress, conduct monitoring and evaluation of the Project, and exchange opinions on major issues that arise during the implementation of the Project. A list of proposed members of JCC is shown in the Annex 1.

### 8. Project Site(s) and Beneficiaries

Project Site: Putrajaya and Kuantan

Beneficiaries: People in Malaysia and surrounding countries

### 9. Duration

Three (3) years from date of arrival of the first long term expert(s)

### 10. Reports

Final report will be submitted at the termination of the Project

### 11. Environmental and Social Considerations

MMEA agreed to abide by 'JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations' in order to ensure that appropriate considerations will be made for the environmental and social impacts of the Project.

## **III. UNDERTAKINGS OF MMEA AND GOM**

1. MMEA and GOM will take necessary measures to:

- (1) ensure that the technologies and knowledge acquired by the Malaysia nationals as a result of Japanese technical cooperation contributes to the economic and social development of Malaysia, and that the knowledge and experience acquired by the personnel of Malaysia from technical training as well as the equipment provided by JICA will be utilized

effectively in the implementation of the Project; and

- (2) grant privileges, exemptions and benefits to the JICA experts referred to in II-6 (1) above and their families, which are no less favorable than those granted to experts of third countries performing similar missions in Malaysia under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

2. MMEA and GOM will take necessary measures to:

- (1) provide security-related information as well as measures to ensure the safety of the JICA experts;
- (2) permit the JICA experts to enter, leave and sojourn in Malaysia for the duration of their assignments therein and exempt them from foreign registration requirements and consular fees.
- (3) exempt the JICA experts from taxes and any other charges on the equipment, machinery and other material necessary for the implementation of the Project;
- (4) exempt the JICA experts from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with any emoluments or allowances paid to them and/or remitted to them from abroad for their services in connection with the implementation of the Project; and
- (5) exempt taxes and any other charges on the equipment, machinery and other material, referred to in II-6(1)(c) above, necessary for the implementation of the Project.

3. MMEA will bear claims, if any arises, against the JICA experts resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with, the discharge of their duties in the implementation of the Project, except when such claims arise from gross negligence or willful misconduct on the part of the JICA experts.

#### **IV. EVALUATION**

JICA and the MMEA will jointly conduct reviews and terminal evaluation upon completion.

#### **V. PROMOTION OF PUBLIC SUPPORT**

For the purpose of promoting support for the Project, MMEA will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of Malaysia.

#### **VI. MUTUAL CONSULTATION**

JICA and MMEA will consult each other whenever any major issues arise in the course of Project implementation.

## **VII. AMENDMENTS**

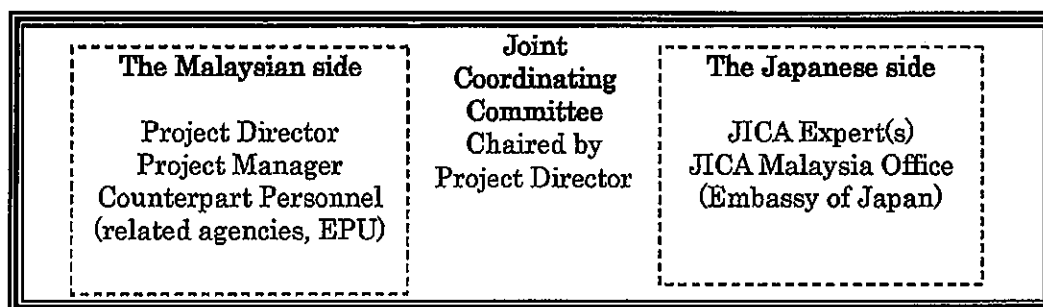
The record of discussions may be amended by the minutes of meetings between JICA and MMEA.

The minutes of meetings will be signed by authorized persons of each side who may be different from the signers of the record of discussions.

- Annex 1 Project Organization Chart
- Annex2 Tentative List of Counterpart Personnel
- Annex3 Tentative Plan of Operation

**Project Organization Chart**

Joint Implementation Structure of the Project



**1. Functions of Joint Coordinating Committee**

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year and whenever necessity arises to:

- (1) Approve the Work Plan;
- (2) Review and monitor the overall progress of the Project as well as the achievement of the Work Plan mentioned above;
- (3) Exchange views on major issues arising from or in connection with the Project;
- (4) Coordinate with related offices, agencies and stakeholders.

**2. Composition of Joint Coordinating Committee**

- (1) Chair
  - Project Director
- (2) Members from the Malaysian side
  - Project Manager
  - Counterpart personnel
  - Representative from related implementing agencies if necessary
- (3) Members from the Japanese side
  - JICA Malaysia Office
  - Japanese Expert(s), JICA
  - JICA Head Quarters if necessary

**3. Note**

- (1) Officials of the Embassy of Japan may attend a Joint Coordinating Committee meeting as observers.
- (2) Officials of Economic Planning Unit, Prime Minister's Department, may attend a Joint Coordinating Committee meeting as observers.
- (3) Persons who are invited by the Chair may attend a Joint Coordinating Committee meeting as observers.

**Tentative List of Counterpart Personnel**

<b>Designation</b>	<b>Position</b>	<b>Incumbent</b>	
1. Project Director	DDG	VADM AHMAD	
2. Project Manager	SPMPIR	CAPT MAMU	
3. Assistant Project Manager	HR	MR. NOR AZAM	
	SPMPIR	CDR ROSLI	
4. Counterparts Output1	MCID	LT CDR ZAINUDIN	
	Output2	SAR	CAPT ROBERT
	Output3	AMSAS	CAPT ALIYAS

**Note:**

In case the counterparts listed above are transferred, the Authorities concerned will provide their replacements.

**ABBREVIATION:**

SPMPIR	Strategic Planning, Maritime Policy and International Relations
AMSAS	Academy Maritime Sultan Ahmad Shah
HR	Human Resource
MCID	Maritime Crime Investigation Department
SAR	Search and Rescue

Tentative Plan of Operation (PO)

Project Title: Project on Enhancing Practical Capacity for Maritime Safety and Security and Improving Education and Training Program

Period: July 2013- July 2016

Implementing Agency: MMEA

Target Area: Nation-wide

Target Group: MMEA staff

Date PO was drafted: May 23, 2013

Version: 0

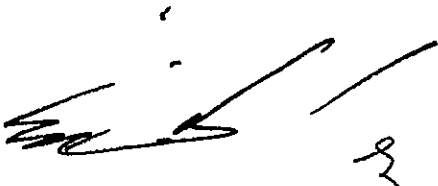
Main Activity/ Sub-Activity	Period Activity is Undertaken		
	Year 1	Year 2	Year 3
<b>Output 1: Practical capacity for Maritime Law Enforcement (MARLEN) is enhanced.</b>			
1.1 Review practical MARLEN training	↑		
1.2 Conduct training(s) on forensic skill	↑	↑	
1.3 Conduct training(s) on detecting skill	↑	↑	
1.4 Develop Standard Operation Procedure for forensic			↑
<b>Output 2: Practical capacity for Search and Rescue (SAR) is enhanced.</b>			
2.1 Review practical SAR training	↑		
2.2 Conduct training(s) on SAR operation coordination techniques	↑	↑	↑
2.3 Conduct training(s) on Underwater rescue	↑	↑	↑
2.4 Develop Standard Operation Procedure for diving techniques			↑
<b>Output 3: AMSAS education and training is improved.</b>			
3.1 Review AMSAS present education and training program, such as organization, curriculum, instructing materials and instructing skill and methodology, etc	↑		
3.2 Improve AMSAS's training program for MMEA			↑
3.3 Conduct training(s) for AMSAS instructors to have educational ability to instruct trainees from surrounding countries	↑	↑	↑
3.4 Develop a training program by AMSAS for other countries		↑	↑

Note: PO version 0 will be revised if necessary.

## Appendix 2

### MAIN POINTS DISCUSSED

1. Other related activities will be implemented in accordance with the needs and necessity for the effective implementation of the Project.
2. MMEA and JICA mutually agreed to accept the proposal from the assigned expert(s) of the Project to work together with other Japanese experts and counterpart personnel in other JICA Projects to achieve maximum output.
3. MMEA expressed the necessity of a navigation simulator in AMSAS. The Team recognized the necessity of the simulator, but the Team also expressed that it should be considered with the budget constraint.
4. MMEA expressed that they welcome to the participants from Middle East and African countries to share educational opportunities in AMSAS.

A handwritten signature in black ink, appearing to be 'K. S.', is located at the bottom left of the page. Below the signature is a small, stylized scribble or mark.